

An aerial, isometric illustration of a town with various buildings, roads, and green spaces. In the background, there are rolling green hills under a light blue sky with a few white clouds. The overall style is clean and modern.

# 地域ビジネス特講Ⅰ

2020後期・金曜4限 / 谷口

## 第8回

“ 「地域と中心」 各地域に暮らす人々の想い、憧れ、嫉妬、偏見 ”

# 「中心市街」は「中心」にある？

- ・ 近代～現代までの中心市街地形成過程
- ・ 地方都市における車移動社会での「市街」の位置付け

**日本の中心市街地は、居住者の郊外移転や大型SCの郊外進出が進展し、急速に衰退している。** (みずほ総合研究所 政策調査部)

**この傾向は地方都市においてより顕著にあらわれている。**



# 「中心市街」の形成

城と城下町、寺社を中心とした門前町、街道沿いの宿場町、湊町としての「津」、農村部における家屋集積された中心集落。

中世～近代にかけて各地域の基本中心市街が形成される

現代のニュータウンを除き、日本の各地域には基本となる市街が歴史的継続性を保ち現代に至る。そして・・・

20世紀、特に戦後は「都市化の時代」となり、それぞれの地域の中心都市へ企業と人口が集積した。

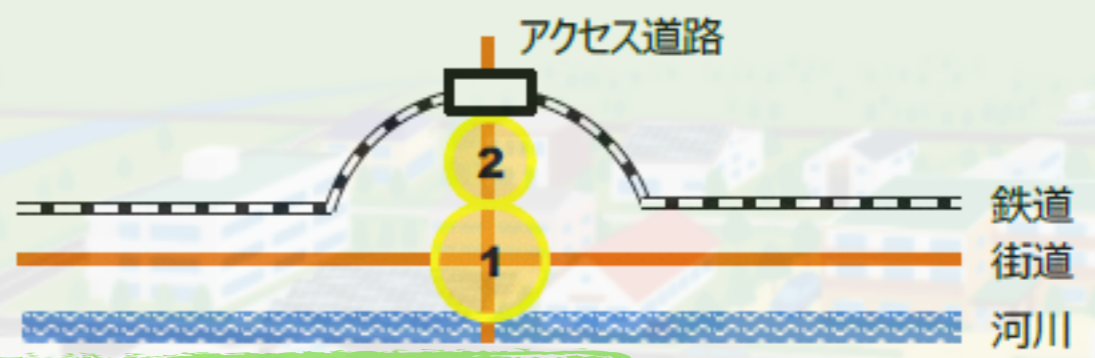
日本総人口の約8割が都市とその近郊に居住する社会となった。

# 「中心市街」の変遷

中世～現代、交通機関からの視点

1 街道・舟運の時代

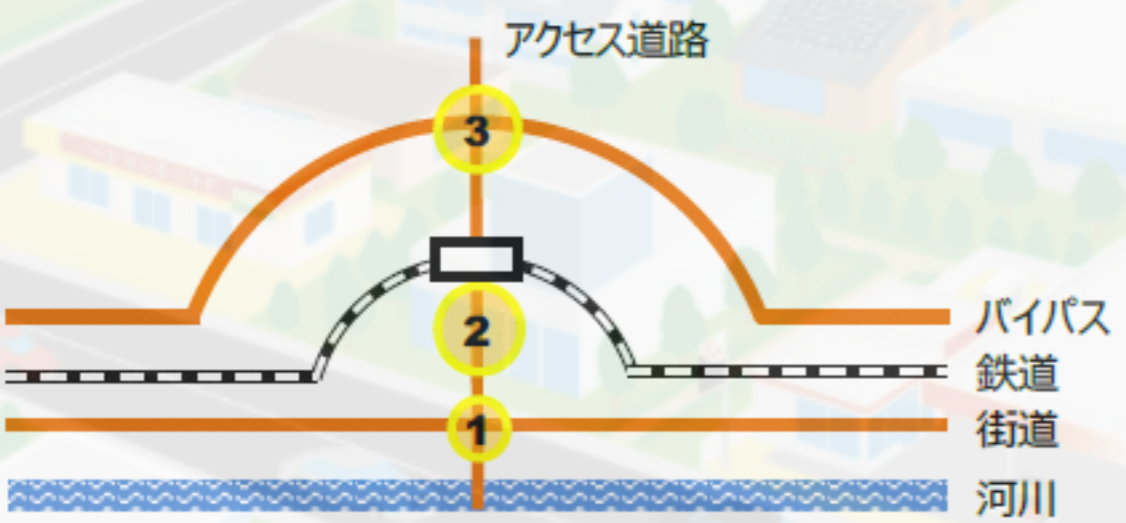
2 鉄道の時代



中心市街が①～④と移り変わる

3 バイパス道路の時代

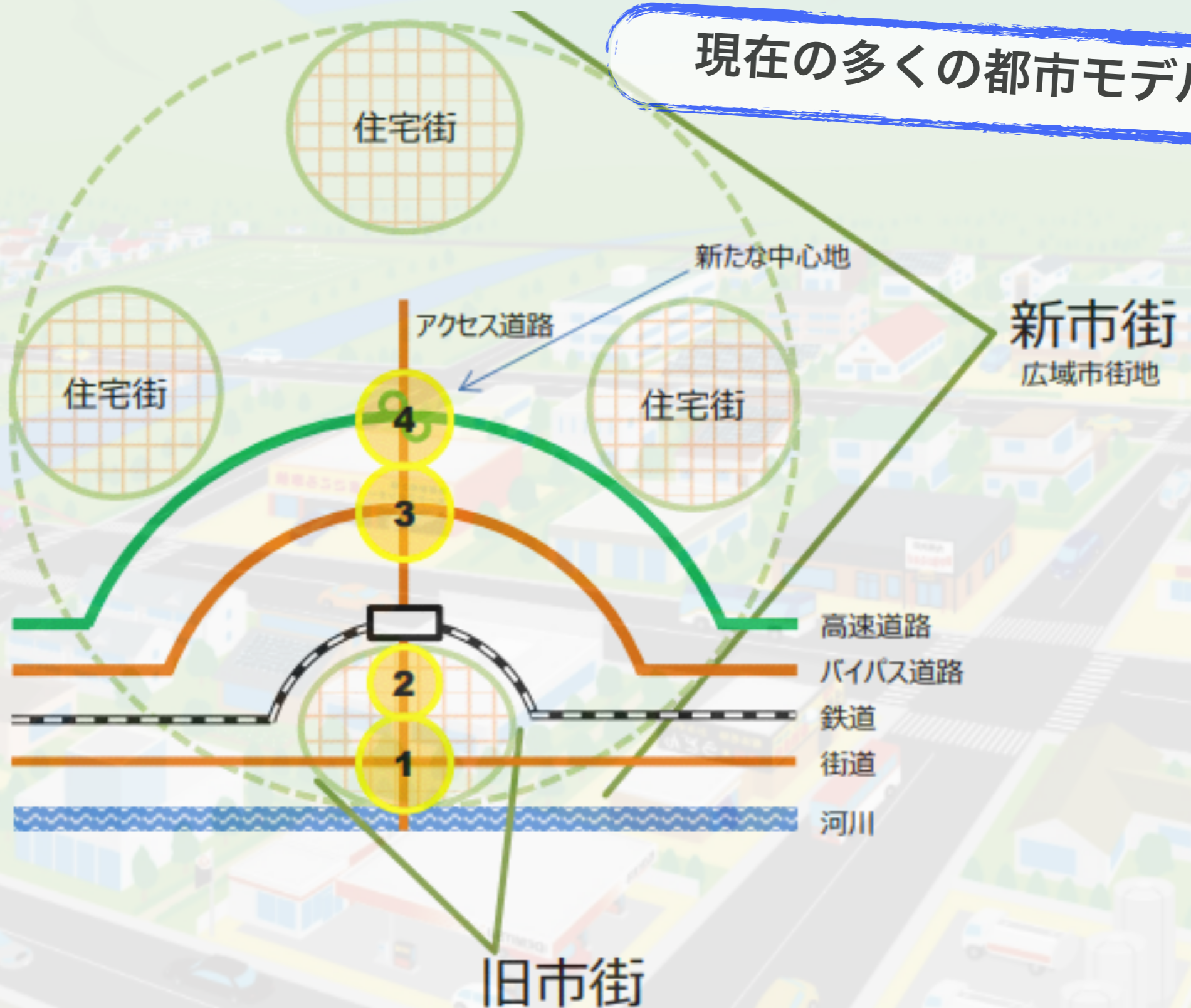
4 高速道路の時代





# 「中心市街」の変遷と新たな形成

現在の多くの都市モデル



“ 「地域と中心」 各地域に暮らす人々の想い、憧れ、嫉妬、偏見 ”

私たちは「にぎわい」を人の多さで判断している

公共交通機関を利用し、中心市街の中心駅に人が集まっていたことで  
「にぎわい」が生まれていた。

「都会の喧騒」のようなイメージは同じ仕組みで繁華街に存在する。

中心駅の中心街に車で訪れる人が増えると・・・



そこに行くことに不便さを感じ、車で行きやすい場所を求め、  
郊外の大型モールストア（イオンモールのような）が盛況となる。



# 名古屋・東海圏の車社会化による功罪

## 栄・名駅の中心街に車で訪れていませんか？

幸いなことに名古屋市は、中心市街にも大規模駐車場を比較的安価に提供しており、車による来訪に抵抗がない。

しかし



東京、大阪の各繁華街は当然として都市規模的に小さくなる他都市（札幌、仙台、神戸、広島、福岡など）の中心街により一層の「にぎわい」を感じたことがないでしょうか？

人が集まる仕組みとしての公共交通の存在

と

車利用をためらう中心街の構造



# 自動車利用率の高い中規模都市では

## 百貨店の大閉店時代到来 中心市街の変化

都市市街の中心的商業施設であり、その街のプライドともいえる百貨店・デパート、ここ数年で閉店が相次ぎ、デパートの無い県が発生。



名古屋はまだ大丈夫 !!

けど、周りの中規模都市の状況は？

豊田、一宮、岡崎、豊橋、岐阜、大垣、四日市 などなど

デパートが無くなり、皆が車で出かけるモールストアが大盛況となる。

この状況で、それらの街の中心市街はどこになるだろうか？



# 「商店街」も同じ構造による消滅危機を迎える

商店街こそ人のにぎわいで成立した施設、現在も活きているといえる場所は？

名古屋では円頓寺と大須ぐらいでしょうか？

百貨店閉店、シャッター商店街は悲しく嘆かわしいイメージで報道されるが、自動車時代にパイパス道路沿いや郊外に人が集まった必然の結末であった。

## 従来からの中心市街地空洞化は避けられない？

日本を支える一大自動車産業を擁する東海地域では、  
避けられないのは車社会化。

都市部では車いらない、むしろ欲しくないという傾向が増える中で、購買を支える貴重な地域

政令市の中でトップクラスの車保有率と若年層の購買欲である。



この資料を作成している11/26深夜、以下の報道がありました。

## IKEA新宿、2021年春にオープン予定



車で行くのが当たり前。  
という価値観を更新する

2010年代から見られる  
大学の都心回帰戦略とも  
共通する要素あり

郊外型大規模SCの代表格であったIKEAが、  
そのビジネスモデルを覆す都市型店舗を発表。

ニトリは以前から都市型店舗を展開中



## 第7回 課題

今回の「中心市街地」「車社会」という視点でも前回の課題を考える良い材料となります。改めて考察を深め進めてみてください。

### 1.

既存行政「区」分を白紙にした。

ここに新たな区分けを行い、新しい「区」を創造し、境界線と新区名を白地図に記入してください。

また、その意味と根拠とした情報などを説明記述してください。

課題データとしてGOOGLEスライドデータを配布します。

スマートフォンで編集できない、あるいは操作がわからない場合は、他の作図ツールや手書きした図の写真を追加提出しても構いません。

### 2.

これまでの授業内容を振り返り、自分の暮らす地域を中心に考え、既存行政区分の存在意義と将来に向け更新・変更すべき点を論じてください。

[800字程度]

課題データとして配布するGOOGLEドキュメントに記述してください。